



2014年夏よりGeorgia Institute of Technology, School of Aerospace Engineering のPh.D.コースに留学中の岡本一秀です。3回目のFall Semesterを終え、Ph.D.生活も後半戦に入りました。今学期の留学生活についてご報告いたします。

1. 授業

今学期はAE8803TS1 Advanced Nonlinear Control, MATH6640 Introduction to Numerical Methods for Partial Differential Equations, ECE6641 Random Processes, CETL8723 Academic Writing for International Graduate Studentsの4つを受講しました。ECE6641はElectrical and Computer Engineering の授業ですが、学科ではMathの単位として認めています。したがって、これで12単位というMathのminimum requirementを満たしました。これで東大から移した単位を合わせてPh.D.に必要な50単位を集め終えました。今後は宿題やテストにスケジュールを振り回されることなく、研究に集中することが出来ます。

CETL8723ではacademic writingを一通り学びました。英文法を一通り復習し、論文だけでなくCVやcover letterの書き方まで学ぶというなかなか内容の濃い授業でした。習ったことの中で特に印象的だったのは、ある文章が理解されなかった場合、東アジアの言語では読者の読解力が足りないとされる (reader responsible) 一方で、英語では筆者の書き方が悪いとされる (writer responsible) という違いです。おそらくこの違いが日米の教科書の分厚さの違いにつながっているのでしょうか。行間を読ませるような英語を書かないように気をつけたいと思います。

2. 研究

夏のインターン中の研究成果から論文を2つの国際学会に1本ずつ提出しました。また、10月にハンガリーのブダペストで行われたIEEE International Conference on Systems, Man, and Cyberneticsにて口頭発表を行いました。また、今学期中の研究成果を冬休み中にまとめ、年明けにもう1つ国際学会に提出する予定です。

学会中にはブダペストの大学に留学中の友人に案内してもらって、グヤーシュやマンガリツァ豚、トカイワインなど、美味しいハンガリー料理に舌鼓を打ちました。ハンガリーは物価が安く、料理も塩味のきいた日本人好みの味付けで、ブダペストの夜景はとても綺麗です。観光にはとてもおすすめの国です。アイスクリームとポテトチップスとステーキ以外は大変残念な国を脱出して美味しい料理を食べるといふ論文投稿への新たなモチベーションを見出しました。

3. フライト

先学期にグライダーに加えて、飛行機(陸上単発)でもFAAのprivate pilotの免許を取得したので、今学期はトレーニングではなく研究や勉強の合間の息抜きに、NC州のAsheville (セスナで片道1.5時間)へ日帰りフライト旅行したり、アトランタダウンタウン上空を観光フライトしたりしました。しかし、やはり月一回程度のフライト頻度では技量を維持するには足りないので、来年からIFR(計器飛行方式、外を見ずに計器と地上からの指示のみで飛ぶ)のトレーニングを始めようかと思っています。一方で、水上飛行機の免許を取って「紅の豚ごっこ」もしたいので悩ましいです。いずれにせよ、安全第一でアメリカの空を楽しみたいと思います。

4. 大統領選挙

御存知の通り、11月に大統領選挙が行われ、大方の予想を覆す結果となりました。西海岸や東海岸北部のリベラルな州の大学では選挙結果が出た翌朝に学長から全学生へ、特にマイノリティの学生を気遣う内容のメールが送られたようですが、真っ赤に染まった南部の大学であるジョージア工科大学では同日、全学生へ毎日送られるメーリングリストで学内コンサートのお知らせが送られた以外、特にアクションはありませんでした。(つまり通常営業。)もともと学内でも学外でも差別的な言動をする人間は一定数いましたし、今までの所特にそういう人間が選挙後に増えたという印象は(僕の周りでは)ありません。結果が出たときは即帰国も考えましたが、Ph.D.のような専門性の高い外国人の就職活動に影響するとも考えにくいですし、あまり慌てず騒がず様子を見ようと思います。

5. 終わりに

今学期は授業4つ、論文提出2つ、国際学会発表1つと、タスクの量としてはこれまでの留学生活で最も多いものでした。学期初めにこうなると分かった時は途方に暮れたものですが、いざやってみると、これまでの2年で確立した体調や精神状態を良好に保つ方法(美味しいご飯を**自炊して**食べて、いっぱい寝る。たまにドライブとカラオケ。)もあって、なんとかこなすことが出来ました。来学期からは授業に割いていた時間を研究に使うことができます。博士論文の内容を考えてThesis Proposalまで持っていきたいと考えています。



Ashevilleへの道中にて。NCとSCの州境にあるLake Jocassee上空から。ちょうど紅葉が見頃でした。(写真撮影中は別のパイロットが操縦桿を握っています。)